

平成 29 年 6 月吉日

関係各位

一般社団法人日本砕石協会四国地方本部  
本部長 辻村 啓一

## 「持続可能な社会を創るための挑戦」に関する講演会について(ご案内)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊協会事業に対して格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、英国の EU 離脱、ヨーロッパの難民問題と右傾化、中東の宗教戦争、米国大統領の言動による国内分断と極端な自国優先主義、中国の南シナ海問題、北朝鮮問題、等々、世界は怒涛の如く変化し、日本もそうした激動に翻弄されています。日本は 20 年余りにわたって経済が停滞し、政府の様々な施策にもかかわらず、デフレが解消されず、世界もフロンティア喪失による景気停滞を余儀なくされています。その理由は、人類を取り巻く環境が著しく変化したにもかかわらず、単純な量的経済成長時代の思考から脱出できないことによると考えられます。

人類の究極の目標は、「持続可能」な資源循環型安全「安心」社会を創ることだと思われまふ。人間社会は、自然資源を利用して様々なものを作り、それらを消費し、廃棄物を排出しています。こうした経済活動の拡大の結果、地球資源の枯渇や化石燃料の消費による地球温暖化問題、並びに廃棄物処理問題が深刻となっています。一方、日本は地震国の宿命を背負い、「国土強靱化」が叫ばれていますが、未だに多くの根源的な課題が残されています。つまり、現状は「持続可能」な安全「安心」社会ではないのです。では、新たな価値の創造による「持続可能」で安全「安心」な社会を創るためにはどうすればいいのでしょうか。こうした問題を考えるために、講演会「持続可能な社会を創るための挑戦」を企画いたしました。

本講演会では、社会と建設産業の関係についてサステナビリティ（持続可能性）の観点から国内外で活発に活動をしている、日本サステナビリティ研究所・代表の堺孝司博士と、その多くが建設関連産業から排出される廃棄物の処理事業の形態を完全に変え、テレビ東京の「カンブリア宮殿」にも出演された石坂産業株式会社の石坂典子代表取締役をお招きし、「持続可能」な資源循環型の安全「安心」社会の本質と、新たな価値創造への挑戦についてご講演していただきます。

また、香川県砕石事業協同組合は、地球資源で最も多く利用されている骨材資源を「持続的」に供給するために策定した「砕石ビジョン」を広く社会との約束として発表します。

時節柄ご多用と存じますが、ご参加賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

(主催) 一般社団法人日本砕石協会四国地方本部

(後援) 骨材資源工学会、日本コンクリート工学会四国支部、日本鉱業協会

四国経済産業局、香川県舗装協会、香川県産業廃棄物協会

日刊建設工業新聞社、セメント新聞社、コンクリート新聞社、建通新聞社

(日時) 平成 29 年 7 月 21 日(金) 13:00～

(場所) リーガホテルゼスト高松 [〒760-0025 香川県高松市古新町 9-1 TEL : (087) 822-3555 (代) ]

(講演会プログラム) 別紙参照

以上